

南阿蘇村 復興むらづくり だより



復興推進課

TEL (67) 1113

■災害公営住宅の入居に関する説明会 が開催されました

9月28日と29日に役場大会議室で災害公営住宅の入居に関する説明会が開催されました。説明会では団地ごとの整備戸数や入居までのスケジュール、入居にあたっての注意事項などについて説明がありました。

現在、すでに工事が行われている2団地を含む全4団地の整備が進められています。



1



2

- 1 入居に関する説明を熱心に聞く参加者
- 2 現場では建設工事が進められています

■南阿蘇中学校3年生が震災遺構を見学しました

10月10日に南阿蘇中学校3年生の防災班の生徒たちが村内の震災遺構を見学しました。学校の授業に震災遺構の見学を取り入れたのは県内で初の取り組みです。

南阿蘇中学校では毎年「全校防災学習」を行っており、これに伴い、さまざまな学習に取り組みんでいます。

当日は阿蘇ジオパークガイドの中村香織さんの案内により、阿蘇大橋崩落跡や東海大学阿蘇キャンパスを見て回り、地震の被害状況や阿蘇の成り立ちなどについて説明を聞きました。その結果は10月21日の学習成果発表会で発表されました。今回の見学会で学んだことは、今後の全校防災学習や避難所運営訓練に活かされる予定です。



3



4

- 3 東海大学阿蘇キャンパスも見学しました
- 4 学習成果発表会では全校生徒・保護者・地域の方の前で発表しました

■立野わかもん会が立ち上げられました

9月18日に立野地域復興むらづくり協議会が開催され、「立野わかもん会」が発足されました。地域に戻ってきている20〜40代の住民6人を中心に今後メンバーを募りながら、協議会の実行部隊として地域の活性化やフットパスなどの取り組みを行っていく予定です。

また、10月10日にホテル熊本テルサで「くまもと里モンプロジェクト交流会 未来への集い」が開催され、立野地域復興むらづくり協議会が熊本県に申請しているフットパスの取り組みについて、小野副知事から立野わかもん会代表の高瀬大輔さんに交付決定通知の授与が行われ、「地域の振興のために頑張ってください」とのお声掛けをいただきました。



5



6

- 5 立野わかもん会発足メンバー6人
- 6 わかもん会代表の高瀬さんが約60団体を代表して登壇されました

■袴野と沢津野で復興に向けた行事が 開催されました

○ボランティアと美化作業(8月26日/袴野区)

県内外からのボランティア約15人を含む約30人が参加し、集落内の道路や地獄温泉周辺の美化作業を行いました。袴野区は地震後に関わったボランティアの方々と今でも交流があり、今後も力をあわせて集落再生に取り組んでいきます。

○公民館落成式(10月7日/沢津野区)

被災した公民館の修繕工事が完了したことを受けて、沢津野地区復興むらづくり協議会の主催で公民館落成式が行われました。同公民館は、震災直前に完成しましたが、今回の地震により大きな被害を受けました。当日は沢津野区民約30人と、来賓として吉良村長や松野教育長、公民館工事の関係者が招かれ、落成を盛大に祝いました。



7



8

7 厳しい暑さのなか作業が行われました
8 沢津野区長や吉良村長らによりテープカットが行われました

■編み物を通して仲間作り

陽ノ丘仮設団地のみんなの家では、毎週火曜日に「編み物の会」が行われており、仮設住宅の入居者をはじめ多くの参加者で賑わっています。□□ミで広がった同会は、仮設住宅での生活を余儀なくされた人たちの活力と癒しの場となっています。参加者からは「心が病んでしまいそうなときにこの会を知り、今ではこの日を一番楽しみにしている」「編み物をしなくても、情報交換や励ましあいの場になっていて、本当に助けられている」といった声が聞かれています。

仮設住宅に入居されていない人や未経験者の方、編み物をしなくてもお茶とお話だけでも大歓迎のことです。



9

9 みなさんの笑顔があふれています

- 日時：毎週火曜日 午前10時～午後4時
- 場所：陽ノ丘仮設団地 みんなの家
- 会費：無料
- 問い合わせ先：080(4745)0174

(代表：田川文代)

○その他：道具や余っている毛糸をお持ちの人は、
いっ持参ください。

■ボランティア団体の活動経費を助成します！

ボランティア団体が村内で行う被災者支援活動のうち、次の①～③が対象となります。対象となる経費は、支援活動に係る交通費や会場使用料などで、助成の上限額は1団体あたり年間100万円(年額)です。

①子ども支援、親支援

例：子どもを対象とするイベントの開催
子どもの学習支援、育児支援など

②日常生活支援

例：医療機関などへの移動支援、スーパーへの買い物支援、自宅の片付け支援など

③被災地域の自立的復興に向けた人材育成支援

例：住民のリーダー的な人材を育成するための研修など

■家を新築される被災者の方へ畳をプレゼント！

熊本地震により被災し住宅を新築される方に対し、八代東ロータリークラブから畳がプレゼントされます。これは、被災者支援の一環として県産畳による快適な居住空間を提供することを目的とされており、1戸当たり8畳(1畳当たり税込2万円以内のもの)が上限で募集による申込みとなっており、応募者多数の場合は抽選となります。

募集や申込みに関する詳しい内容については、左記ホームページをご確認ください。

○<http://yatsushiro-east.a.la9.jp/>